

Dell™ PowerEdge™ システム用  
Microsoft® Windows Server® 2003 R2,  
Datacenter x64 Edition With Unlimited  
Virtualization With SP2

# インストール & セットアップガイド

## メモおよび注意



**メモ**：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



**注意**：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

---

**本書の内容は予告なく変更されることがあります。  
© 2007 すべての著作権は Dell Inc. にあります。**

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、OpenManage、および PowerEdge は Dell Inc. の商標です。Microsoft、SharePoint、Windows、および Windows Server は Microsoft Corporation の登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

# 目次

<b>プリインストールの要件</b> . . . . .	<b>6</b>
デバイスドライバディスクの作成 . . . . .	6
ディスクドライブがない Microsoft Windows サーバーにデルのドライバをインストールする 際のセットアップ上の制約 . . . . .	7
<b>再インストール用メディアを使用して Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter x64 Edition With Unlimited Virtualization With SP2 をインストールする方法</b> . . . . .	<b>10</b>
簡易セットアップの実行 . . . . .	11
カスタムセットアップの実行 . . . . .	13
<b>Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用して Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter x64 Edition With Unlimited Virtualization With SP2 をイ ンストールする方法</b> . . . . .	<b>19</b>
<b>R2 コンポーネントのインストール</b> . . . . .	<b>24</b>



本書では、Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Datacenter x64 Edition with Unlimited Virtualization with SP2 OS のインストール方法について説明しています。

本書では、以下の情報について説明します。

- プリインストールの要件。
- 再インストール用メディアを使用して Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter x64 Edition With Unlimited Virtualization With SP2 をインストールする方法。
- Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用して Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter x64 Edition With Unlimited Virtualization With SP2 をインストールする方法。
- R2 コンポーネントのインストール。



**メモ：**OS がインストールされていない Dell システムを購入された場合は、サポートされているバージョンの Dell PowerEdge™ の『Installation and Server Management CD』を使用し、表示されるガイドに従って OS をインストールすることを強くお勧めします。Dell PowerEdge の『Service and Diagnostic Utilities CD』には、Dell システム購入時に入手できる最新のドライバが収録されています。Dell PowerEdge の『Service and Diagnostic Utilities CD』に含まれていないアップデート版のドライバについては、デルサポートサイト [support.dell.com/support/downloads](http://support.dell.com/support/downloads) を参照してください。



**メモ：**デルのリカバリメディアを使用して OS をインストールする場合は、Dell PowerEdge の『Service and Diagnostic Utilities CD』またはデルサポートサイト [support.dell.com/support/downloads](http://support.dell.com/support/downloads) から最新のデバイスドライバをインストールする必要があります。



**メモ：**キットに含まれている OS 修復メディアには、OS の最新アップデートが収録されていない場合があります。このメディアを使用して OS を再インストールする場合は、Microsoft Windows Update のウェブサイト [update.microsoft.com](http://update.microsoft.com) から最新のアップデートをダウンロードしてください。

ドライバが必要なデバイスは、Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用してシステムを起動し、**Dell OpenManage Server Assistant** によるウィンドウで**ハードウェアの表示**を選択して確認します。システムにインストールされているデバイスが画面に表示されます。



**メモ**：ドライバが必要なデバイスの詳細については、[www.dell.com/ostechsheets](http://www.dell.com/ostechsheets) で、Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition および Enterprise x64 Edition の『重要情報』を参照してください。

## プリインストールの要件

プリインストールの要件は以下のとおりです。

- OS のマニュアルセットに含まれている Microsoft の『はじめに』をお読みください。
- デルサポートサイト **support.dell.com** から最新の BIOS、ファームウェア、およびドライバのアップデート版をダウンロードします。

R2 でサポートされている BIOS、システムファームウェア、および RAID コントローラドライバの最も低いバージョンについては、[www.dell.com/ostechsheets](http://www.dell.com/ostechsheets) で Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition および Enterprise x64 Edition の『重要情報』を参照してください。

- デバイスドライバディスクセットを作成します。

## デバイスドライバディスクセットの作成

- Windows® OS を実行している別のシステムに Dell PowerEdge の『Service and Diagnostic Utilities CD』をセットします。

Dell PowerEdge の『Service and Diagnostic Utilities CD』が自動的に起動します。

CD が自動的に起動しない場合は、次の手順を実行します。

- Windows エクスプローラを開きます。
- CD ドライブに移動します。
- CD ドライブを右クリックして、**自動再生** をクリックします。

**Dell Service and Diagnostic Utilities** ウィンドウが表示されます。

- 2 **Please Select A Server** (サーバーを選択してください) ドロップダウンメニューで、システムの名前を選択します。
- 3 **Select Drivers/Utilities Set** (ドライバ/ユーティリティのセットの選択) ダイアログボックスで、**System Utilities** (システムユーティリティ) を選択し、**Continue** (続行) をクリックします。  
**Utilities and Drivers Page** (ユーティリティとドライバのページ) ウィンドウが表示されます。
- 4 OS に対応する適切なファイルをダブルクリックします。
- 5 画面の指示に従ってファイルをダウンロードします。
- 6 自己解凍型 ZIP ファイルをローカルのハードドライブに保存して、ファイルをディスクットに展開します。
- 7 **Dell OpenManage Server Assistant** ウィンドウを閉じます。
- 8 Dell PowerEdge の『Service and Diagnostic Utilities CD』を CD ドライブから取り出します。

## ディスクットドライブがない Microsoft Windows サーバーにデルのドライバをインストールする際のセットアップ上の制約

物理ディスクットドライブ (**A:\**) がないサーバーで F6 プロンプトを使って OS とデルの大容量ストレージデバイスドライバのインストールを試みると、問題が発生する場合があります。Windows セットアップのテキストモード部分で、F6 プロンプトによって提供された追加の大容量ストレージデバイスドライバを **A:\** (A はディスクットドライブのドライブ文字) に用意するように要求されます。

これはディスクットドライブがないサーバーの制約であり、Windows の 32 ビットまたは 64 ビットの拡張 OS をインストールする場合にのみ発生する現象です。どのハードウェアを交換する必要もありません。

この問題を解決するには、サーバーに物理ディスクットドライブまたは仮想ディスクットドライブを追加します。以下の項で説明されている 4 つのオプションを実行すれば、サーバーにデルのドライバをインストールすることができます。

- Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用する方法
- DRAC ディスクットイメージを使用する方法
- Dell USBKeyPrepF6 ユーティリティを使用する方法
- Windows のインストール内容にドライバを含める方法

## Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用する方法

サーバーに付属の Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用して、Windows OS 用のサポートされているドライバがすべてインストールされていることを確認します。

### DRAC ディスケットイメージを使用する方法

デルサポートサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) にある Dell Remote Access Card (DRAC) 4 または DRAC 5 ディスケットイメージを使用して、デルの大容量ストレージデバイスドライバをインストールします。仮想ディスクドライブのメディアをセットアップする方法については、サーバーに付属の DRAC のマニュアルを参照してください。



**メモ**：この手順でドライバをインストールできるのは、お使いのサーバーに DRAC が取り付けられ、設定されている場合に限られます。


### Dell USBKeyPrepF6 ユーティリティを使用する方法

本項では、F6 プロンプトを使ってデルの大容量ストレージデバイスドライバをインストールするために USB キーを使用する方法について説明します。Dell USBKeyPrepF6 ユーティリティを使用すれば、F6 プロンプトに SB キーを使えるように準備することができますが、この方法は Windows Server 2003 OS のインストール中に限られます。

- 1 デルサポートサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) にアクセスします。
- 2 **Drivers and Downloads** (ダウンロード) をクリックします。
- 3 サービスタグを入力するか、または製品のタイプと製品モデルを選択します。情報の入力と選択を終えたら、**Go** (進む) をクリックします。
- 4 **Choose Operating System Type** (OS の種類を選択してください) ドロップダウンメニューで、お使いの Microsoft Windows Server 2003 OS のバージョンを選択します。
- 5 **Find Downloads** (ダウンロードファイルの検索) をクリックします。
- 6 **System and Configuration Utilities** (システムと設定ユーティリティ) という見出しが付いたグループを展開します。
- 7 **Dell USBKeyPrepF6 Utility** をクリックします。
- 8 ユーティリティをダウンロードし、解凍します。




9 **readme.txt** ファイルの指示に従います。

 **注意**：このユーティリティを使って USB キーをフォーマットすると、USB キー内のデータはすべて消去されます。

10 Dell USBKeyPrepF6 ユーティリティをダウンロードしたデルサポートサイトにアクセスします。お使いのコントローラの種類に該当するグループを展開します。

11 お使いのシステムに該当するコントローラの種類を選択し、デルの大容量ストレージデバイスドライバを後でアクセスできる場所にダウンロードします。


必ず **Hard-Drive Package**（ハードドライブパッケージ）オプションを選択してください（Dell USBKeyPrepF6 ユーティリティを使用する際に、このドライバが必要になります）。

 **メモ**：ドライバを正常にインストールできたら、USB キーを正常に使用できる元の状態に戻すために、Windows のディスクの管理アプリケーションを使用して再フォーマットする必要があります。

### Windows のインストール内容にドライバを含める方法

Windows のインストール内容に相手先ブランド供給のプラグアンドプレイのドライバを追加するには、自動展開の方法を使います。この方法の使い方については、次の Microsoft 技術情報を参照してください。

- <http://support.microsoft.com/kb/254078/en-us>
- <http://support.microsoft.com/kb/816299/en-us>

 **メモ**：最新の Broadcom ドライバは、デルサポートサイト [support.dell.com](http://support.dell.com) からダウンロードできます。

# 再インストール用メディアを使用して Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter x64 Edition With Unlimited Virtualization With SP2 をインストールする方法

- 1 キーボード、モニター、マウス、およびその他の周辺機器をシステムに接続します。
- 2 システムおよび周辺機器の電源を入れます。  
起動中にいくつかの BIOS ウィンドウが表示されますが、ユーザーは何も行う必要はありません。
- 3 『Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition with SP2 Disk 1 CD』を CD ドライブにセットします。
- 4 <Ctrl><Alt><Delete> を押してシステムを再起動します。  
システムに Windows OS がインストールされている場合は、次のメッセージが表示されます。

Press any key to boot from your CD...

- 5 いずれかのキーを押して、CD から起動します。  
システムに Windows OS がインストールされていない場合は、画面が黒に変わります。その後、**Windows セットアップ** が青い画面上にテキストモードで表示されます。
- 6 起動デバイスまたは他のデバイス用に追加のデバイスドライバをインストールする必要がある場合は、すぐに <F6> を押して以下の手順を実行します。追加のデバイスドライバをインストールする必要がない場合は、手順 7 に進みます。
  - a 画面の指示に従って <S> を押すと、追加デバイスを選択して追加できます。
  - b デバイスドライバディスクセットをディスクドライブにセットして、<Enter> を押します。  
デバイスドライバの一覧が表示されます。
  - c 適切なデバイスドライバを選択して、<Enter> を押します。  
適切なドライバがシステムにロードされます。

- d 正しいデバイスドライバがシステムにロードされたことを確認します。
- e 手順 a ~ d を繰り返して、追加のデバイスドライバをインストールします。追加のデバイスドライバをインストールしない場合は、<Enter> を押して続行します。

Windows を起動中であることを示すメッセージが表示されます。

- 7 **セットアップへようこそ** ウィンドウで <Enter> を押して続行します。
- 8 システムでコンソールリダイレクションを有効にしていない場合は、「カスタムセットアップの実行」に進みます。

システムでコンソールリダイレクションを有効にしている場合は、次のいずれかを選択します。

- **簡易セットアップ** — ほとんどの設定が自動的に設定されます。ユーザーはほとんど操作を行う必要がありません。  
簡易セットアップを実行する場合は、<Enter> を押して、「簡易セットアップの実行」に進みます。
- **カスタムセットアップ** — システム名および TCP/IP やドメイン名などのネットワークコンポーネントをカスタマイズできます。  
カスタムセットアップを実行する場合は、<C> を押して、「カスタムセットアップの実行」に進みます。

## 簡易セットアップの実行


- 1 **Windows Server 2003 セットアップ** 画面で確認のメッセージが表示されたら、管理者パスワードを入力して <Enter> を押します。
- 2 パスワードを確認するメッセージが表示されたら、管理者パスワードを再度入力して <Enter> を押します。
- 3 **Windows ライセンス契約** ウィンドウが表示されたら、手順 4 へ進みます。


**Windows ライセンス契約** ウィンドウが表示されなかった場合は、手順 5 へ進みます。

- 4 表示された内容を読みます。同意する場合は <F8> を押して続行します。

システムのハードドライブの既存のパーティションとパーティション分割されていない領域を示すウィンドウが表示されます。同意しない場合は、<Esc> を押します。Windows がインストールされずにシステムが再起動します。

- 5 OS をインストールできるパーティションを選択して、<Enter> を押します。
- 6 Windows パーティション用の適切なファイルシステムを選択して、<Enter> を押します。

 **メモ**：最高のセキュリティを実現するために、NTFS を使用してパーティションをフォーマットすることをお勧めします。


 **メモ**：この処理には数分かかることがあります。

- 7 ディスクドライブからドライバディスクを取り出します。


確認のメッセージが表示されたら、どのキーも押さないでください。

システムが再起動すると、**EMS 接続が検出されました** の画面が表示されます。


- 8 **OK** をクリックするか、または <Enter> を押して続行します。いずれかの設定パラメータがないかまたは無効であることを示すエラーメッセージのポップアップウィンドウが表示される場合があります。

 **メモ**：デルから購入されたメディアを使用しない場合は、ここで Windows プロダクトキーを入力します。

インストールが完了し、システムが再起動します。

 **メモ**：この処理には数分かかることがあります。

自動的にシステムへのログオンが実行されます。『Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition with SP2 Disk 2 CD』をセットするように求めるプロンプトが表示されます。

 **メモ**：オプションの R2 コンポーネントをインストールするには、OK をクリックし、「R2 コンポーネントのインストール」を参照してインストールを実行します。

- 9 オプションの R2 コンポーネントをインストールせずに OS のインストールを続行するには、**Cancel**（キャンセル）をクリックします。

オプションの R2 コンポーネントを後でインストールする方法を指示する **Windows セットアップ** のダイアログボックスが表示されます。

- 10 **OK** をクリックします。

**Manage Your Server**（サーバーの役割管理）ウィンドウが表示されます。

これでシステムに OS がインストールされました。



**メモ**：Microsoft のサポートサイト [support.microsoft.com](https://support.microsoft.com) から、パッチ、修正プログラム、サービスパックなどをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。



**メモ**：Windows セットアップは、ネットワーク上で名前の競合が発生しないようにランダムにコンピュータ名を選択し、WORKGROUP ワークグループに属するようにシステムを設定します。OS のインストール後に、システムをドメインに追加することもできます。

## カスタムセットアップの実行

- 1 **Windows ライセンス契約** ウィンドウが表示されたら、内容をよくお読みください。

同意する場合は <F8> を押して続行します。システムのハードドライブの既存のパーティションとパーティション分割されていない領域を示すウィンドウが表示されます。

同意しない場合は、<Esc> を押します。Windows がインストールされずにシステムが再起動します。




**メモ**：ハードディスクに Windows パーティションがすでに存在する場合は、パーティションを修正するオプションが表示されることがあります。<Esc> を押してインストールを続行します。

- 2 OS をインストールできるパーティションを選択して、<Enter> を押します。




**メモ**：作成するパーティションのサイズは 12 GB 以上にすることをお勧めします。

- 3 Windows パーティション用の適切なファイルシステムを選択して、<Enter> を押します。

 **メモ**：最高のセキュリティを実現するために、NTFS を使用してパーティションをフォーマットすることをお勧めします。

選択したファイルシステムでパーティションがフォーマットされ、OS のファイルがシステムにコピーされます。

 **メモ**：この処理には数分かかることがあります。

- 4 ディスケットドライブからディスクを取り出し、<Enter> を押し、システムを再起動してください。

何もしなければ、15 秒後に Windows セットアップによりシステムが自動的に再起動されます。

確認のメッセージが表示されたら、どのキーも押さないでください。

コンソールリダイレクションを有効にしている場合は、**EMS Connection Detected** (EMS 接続を検出しました) ウィンドウが表示されます。**OK** をクリックして続行します。

**Windows セットアップ** ウィンドウが表示され、インストールの進行状況が表示されます。

**デバイスをインストールしています** ウィンドウが表示され、画面が数回点滅します。これは正常な動作です。

最後に、**地域と言語のオプション** ウィンドウが表示されます。

- 5 表示されるデフォルト設定を確認します。  
デフォルト設定が正しい場合は、以下の手順を実行します。
  - a **次へ** をクリックします。  
**ソフトウェアの個人用設定** ウィンドウが表示されます。
  - b 手順 6 に進みます。  
デフォルト設定が正しくない場合は、次の手順を実行します。
    - a **カスタマイズ** をクリックします。  
**地域と言語のオプション** ウィンドウが表示されます。

- b **地域のオプション** タブで、必要に応じて地域と場所の設定を変更し、**OK** をクリックします。

**地域と言語のオプション** ウィンドウが表示されます。

- c **詳細** をクリックします。

**テキストサービスと入力言語** ウィンドウが表示されます。

- d **設定** タブで、必要に応じてデフォルトの入力言語とインストールされているサービスを変更して **OK** をクリックし、**次へ** をクリックして続行します。

**ソフトウェアの個人用設定** ウィンドウが表示されます。

- 6 氏名と会社名または組織名を入力して、**次へ** をクリックします。



**メモ**：デルから購入されたメディアを使用しない場合は、ここで Windows プロダクトキーを入力します。

**ライセンスモード** メニューが表示されます。

- 7 次のいずれかのオプションを選択して **次へ** をクリックします。

- **同時使用ユーザー数**

**同時使用ユーザー数** を選択した場合は、お使いのクライアントアクセスライセンスに含まれる同時接続数をドロップダウンメニューから選択してください。

- **接続デバイス数** または **接続ユーザー数**

**接続デバイス数** または **接続ユーザー数** を選択した場合、ライセンスマネージャはログイン時に個々のシステムが有効なライセンスを持っていることを確認します。

**コンピュータ名と Administrator のパスワード** ウィンドウが表示されます。

- 8 コンピュータ名と管理者パスワードを入力して **次へ** をクリックします。

**日付と時刻の設定** ウィンドウが表示されます。

- 9 日付、時刻、およびタイムゾーンを設定して **次へ** をクリックします。

ネットワークコンポーネントのインストールが開始します。



**メモ**：この処理には数分かかることがあります。

**ネットワークの設定** ウィンドウが表示されます。

10 次のいずれかの設定を選択して **次へ** をクリックします。



**メモ**：標準設定 を選択することをお勧めします。

- **標準設定** (デフォルト) — デフォルト設定でシステムが設定されます。
- **カスタム設定** (システムに詳しい管理者のみ) — **ネットワークコンポーネント** ウィンドウが表示され、システム上の各ネットワークアダプタについて次の項目を設定できます。
  - Microsoft ネットワーク用クライアント
  - ネットワーク負荷分散
  - Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有
  - インターネットプロトコル (TCP/IP)

11 **カスタム設定** を選択し、追加のネットワークコンポーネントをインストールする必要がある場合は、**ネットワークコンポーネント** ウィンドウで次の手順を実行します。

a **インストール** をクリックします。

**ネットワークコンポーネントの種類を選択** ウィンドウが表示されます。

b ネットワークコンポーネントの種類を選択します。

c **追加** をクリックします。

d ネットワークコンポーネントまたはネットワークサービスを選択して **OK** をクリックします。

**ネットワークコンポーネント** ウィンドウが表示されます。

12 **次へ** をクリックします。

**ワークグループまたはドメイン名** ウィンドウが表示されます。



13 次のオプションのいずれかを選択します。


- **No, this computer is not on a network, or is on a network without a domain. Make this computer a member of the following workgroup:** (このコンピュータはネットワークに属していないか、またはドメインが設定されていないネットワークに属しています。このコンピュータを次のワークグループのメンバーに設定します。)

システムにワークグループ名を割り当てるように求められます。このオプションを選択すると、LAN 上の同じワークグループ名のシステムがこのシステムに接続できるようになります。


ワークグループ名を入力して **次へ** をクリックします。

- **Yes, make this computer a member of the following domain:** (このコンピュータを次のドメインのメンバーにします。)適切なドメイン名を入力して **次へ** をクリックします。

**Join Computer to <お使いのドメイン名> Domain** ウィンドウが表示されます。ドメイン管理者のユーザー名とパスワードを入力して **OK** をクリックします。

 **メモ**：ドメインに参加するには、適切な権限が必要です。

Windows セットアップはインストール手順を続行し、システムを再起動します。

 **メモ**：この処理には数分かかることがあります。


**Windows へようこそ** ウィンドウが表示されます。

14 <Ctrl><Alt><Delete> を押します。

**Windows へログオン** ダイアログボックスが表示されます。

15 管理者パスワードを入力し、**OK** をクリックします。

『Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition with SP2 Disk 2 CD』を CD ドライブにセットするように求めるプロンプトが表示されます。


 **メモ**：オプションの R2 コンポーネントをインストールするには、**OK** をクリックし、「R2 コンポーネントのインストール」を参照してインストールを実行します。

- 16 オプションの R2 コンポーネントをインストールせずに OS のインストールを続行するには、**Cancel** (キャンセル) をクリックします。

オプションの R2 コンポーネントを後でインストールする方法を指示する Windows セットアップのダイアログボックスが表示されます。

- 17 **OK** をクリックします。

**Windows Server Post-Setup Security Updates** (セットアップ後のセキュリティ更新) ウィンドウが表示されます。

 **メモ** : この時点では、Windows ファイアウォールはアクティブです。Finish (完了) をクリックする前に、最新のクリティカルセキュリティのアップデートを使用してシステムをアップデートし、Automatic Updates (自動更新) を設定することをお勧めします。

- 18 **Finish** (完了) をクリックします。

次の警告メッセージが表示されます。


When you close this page, inbound connections to this server will be allowed. Before continuing, ensure that you have downloaded and installed all available security updates.

- 19 **Yes** (はい) をクリックして、ウィンドウを閉じます。

**Manage Your Server** (サーバーの役割管理) ウィンドウが表示されます。

これでシステムに OS がインストールされました。

残りのインストールを実行する手順の詳細については、ソフトウェアに同梱のマニュアルを参照するか、Microsoft のウェブサイト [support.microsoft.com](https://support.microsoft.com) で確認してください。

 **メモ** : Microsoft のサポートサイト [support.microsoft.com](https://support.microsoft.com) から、パッチ、修正プログラム、サービスパックなどをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

# Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』を使用して Microsoft Windows Server 2003 R2, Datacenter x64 Edition With Unlimited Virtualization With SP2 をインストールする方法

OS をクリーンインストールするには、次の手順を実行します。

- 1 キーボード、マウス、およびモニターをシステムに接続します。
- 2 システムの電源を入れます。
- 3 CD ドライブに Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』をセットします。
- 4 <Ctrl><Alt><Delete> を押してシステムを再起動します。
- 5 『Dell PowerEdge Installation and Server Management CD』を使用するのがはじめてではない場合は、**Welcome to Dell OpenManage™ Server Assistant** (Dell OpenManage Server Assistant へようこそ) ウィンドウが表示されます。手順 6 に進みます。

お使いのシステムで Dell PowerEdge の『Installation and Server Management CD』をはじめて使用する場合は、次の手順を実行します。

- a プロンプトが表示されたら、システムで使用する言語をクリックします。  
**Dell ソフトウェア製品ライセンス契約** ウィンドウが表示されます。表示された内容をよく読みます。
- b 同意する場合は、**Accept** (同意します) をクリックして続行します。  
同意しない場合は、**Decline** (同意しません) をクリックします。この場合は、システムが再起動し、OS のインストールを完了することはできません。

- 6 **Click Here for Server Setup** (サーバーをセットアップするにはここをクリックしてください) をクリックして、OS をインストールします。

**日付と時刻の設定** ウィンドウが表示されます。

- 7 日付、時刻、およびタイムゾーンを設定して **続行** をクリックします。
- 8 **インストールするオペレーティングシステムの選択** ウィンドウが表示されたら、**Microsoft Windows Server 2003 x64 Edition** を選択します。
- 9 **OK** をクリックし、**続行** をクリックします。

システムに RAID コントローラがインストールされていない場合は、**オペレーティングシステムの選択** ウィンドウが表示されます。手順 10 に進みます。

システムに RAID コントローラがインストールされている場合は、**RAID の構成** または **RAID 構成の省略** ウィンドウが表示されます。以下の手順を実行します。

- a 次のいずれかのオプションを選択して、**続行** をクリックします。
- **Configure RAID (RAID の構成)**
  - **Skip RAID configuration (RAID 構成の省略)**
- b **Skip RAID configuration** (RAID 構成の省略) を選択した場合は、手順 10 に進みます。
- c **Configure RAID** (RAID の構成) を選択した場合は、次のいずれかを選んで RAID を設定します。
- ページ左上の **Go to Advanced Wizard** (詳細ウィザードへ進む) をクリックし、画面の指示に従います。
  - RAID のレベルを選択し、**Continue** (続行) をクリックします。


RAID 構成の概要が表示されます。


- d **Continue** (続行) をクリックします。次のメッセージが表示されます。

All existing virtual disk(s) on this controller will be deleted and all data will be lost.

- e **OK** をクリックして続行します。

- 10 新しい起動パーティションを設定するには、適切なファイルシステムとパーティションのサイズを選択して **Continue** (続行) をクリックします。

 **メモ**：最高のシステムセキュリティを実現するために、NTFS - NT ファイルシステム を選択することをお勧めします。

 **メモ**：ハードドライブに既存のパーティションがある場合は、既存のパーティションを削除してよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。**Continue** (続行) をクリックします。ハードドライブにある既存のパーティションがすべて削除されます。

**Network Adapter(s) configuration** (ネットワークアダプタの設定) ウィンドウが表示されます。

- 11 次のいずれかのオプションを選択して、**Continue** (続行) をクリックします。


- **Obtain IP address from DHCP server.**

(DHCP サーバーから IP アドレスを取得)

- **Specify an IP address** (IP アドレスを指定)

**Enter Configuration Information: Microsoft Windows Server 2003 x64 Edition** (Microsoft Windows Server 2003 x64 Edition 設定情報の入力) ウィンドウが表示されます。

- 12 適切なフィールドにシステム情報を入力して、**Continue** (続行) をクリックします。

 **メモ**：デルから購入されたメディアを使用しない場合は、ここで Windows プロダクトキーを入力するように求められます。

**Operating System Installation Summary** (OS のインストールの概要) ウィンドウが表示されます。


- 13 設定情報が正しい場合は、**Continue**（続行）をクリックします。

**Microsoft Windows Installation Wizard**（Microsoft Windows インストールウィザード）ウィンドウが表示され、ファイルのコピーが開始されます。

設定情報が正しくない場合は、次の手順を実行します。


- a 修正を必要とする画面が表示されるまで **Back**（戻る）をクリックします。
  - b 正しい情報を入力します。
  - c **Microsoft Windows Installation Wizard**（Microsoft Windows インストールウィザード）画面が表示されるまで **Continue**（続行）をクリックします。
- 14 プロンプトが表示されたら、『Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition with SP2 Disk 1 CD』を CD ドライブにセットします。

**Dell OpenManage Server Assistant** は CD を自動的に検出し、OS ファイルのコピーを開始します。

 **メモ**：この処理には数分かかることがあります。

- 15 プロンプトが表示されたら、CD ドライブからメディアを取り出し、**Finish**（完了）をクリックします。

システムが自動的に再起動し、**Windows セットアップ**がテキストモードで表示されてインストールが続行されます。


 **メモ**：セットアップユーティリティでコンソールリダイレクションを有効にした場合は、Windows セットアップのテキストモードで管理者パスワードの入力が求められます。管理者パスワードを入力し、<Enter>を押して続行します。**Emergency Management System**（緊急管理システム）ウィンドウが表示されます。**OK**をクリックして続行します。

自動的にシステムが再起動し、**Windows セットアップ**ウィンドウが表示されます。

インストールが完了し、システムが再起動します。

- 16 **Log On** (ログオン) ウィンドウに管理者パスワードを入力し、**OK** をクリックします。

『Windows Server 2003 R2 Disk 2 CD』をセットするよう求めるメッセージが表示されます。


 **メモ**：オプションの R2 コンポーネントをインストールする場合は、**OK** をクリックし、「R2 コンポーネントのインストール」を参照してインストールを実行します。

- 17 オプションの R2 コンポーネントをインストールせずに OS のインストールを続行するには、**Cancel** (キャンセル) をクリックします。

2 枚目の CD のコンポーネントを後でインストールする方法を指示する Windows セットアップのダイアログボックスが表示されます。

- 18 **OK** をクリックします。

**Windows Server Post-Setup Security Updates** (セットアップ後のセキュリティ更新) ウィンドウが表示されます。

 **メモ**：この時点では、Windows ファイアウォールはアクティブです。**Finish** (完了) をクリックする前に、最新のクリティカルセキュリティのアップデートを使用してシステムをアップデートし、**Automatic Updates** (自動更新) を設定することをお勧めします。

- 19 **Finish** (完了) をクリックします。

次の警告メッセージが表示されます。


When you close this page, inbound connections to this server will be allowed. Before continuing, ensure that you have downloaded and installed all available security updates.

- 20 **Yes** (はい) をクリックして、ウィンドウを閉じます。


**Manage Your Server** (サーバーの役割管理) ウィンドウが表示されます。

これでシステムに R2 OS がインストールされました。

残りのインストールを実行する手順の詳細については、ソフトウェアに同梱のマニュアルを参照するか、Microsoft のウェブサイト [support.microsoft.com](http://support.microsoft.com) で確認してください。

 **メモ**：Microsoft のサポートサイト [support.microsoft.com](http://support.microsoft.com) から、パッチ、修正プログラム、サービスパックなどをダウンロードしてインストールすることをお勧めします。

## R2 コンポーネントのインストール

-  **メモ**：R2 コンポーネントをインストールすると、スケーラビリティ、セキュリティが強化されたウェブプラットフォーム、簡略化されたブランチサーバー管理、改善された ID とアクセスの管理、および効率的なストレージ管理といった追加機能が利用できるようになります。Windows Server 2003 SP2 により、アップデートが R2 コンポーネントに適用されます。Windows Server 2003 SP2 をインストールしても、Windows Server 2003 が Windows Server 2003 R2 にアップグレードされるわけではありません。

オプションの R2 コンポーネントをインストールするには、以下の手順を実行します。

- 1 『Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition with SP2 Disk 2 CD』を CD ドライブにセットし、**OK** をクリックします。

**Windows Server 2003 R2 セットアップウィザード**へようこそウィンドウが表示されます。

- 2 **Next** (次へ) をクリックします。

**End-User License Agreement** (使用許諾契約書) ウィンドウが表示されます。

- 3 同意する場合は、ライセンスの条件を受け入れ、**Next** (次へ) をクリックします。

**Setup Summary** (セットアップのサマリー) ウィンドウが表示されます。

同意しない場合は、**Cancel** (キャンセル) をクリックします。その場合、オプションの R2 コンポーネントのインストールを続けることはできません。

- 4 **Next** (次へ) をクリックします。

**Completing Windows Server 2003 R2 Setup** (Windows Server 2003 R2 のセットアップの実行) ウィンドウが表示されます。

- 5 **Finish** (完了) をクリックします。



以下は、『Microsoft Windows Server 2003 R2 Datacenter x64 Edition with SP2 Disk 2 CD』で利用できるオプションの R2 コンポーネントの一覧です。



**メモ**：R2 コンポーネントの詳細については、[www.microsoft.com/WindowsServer2003/R2/default.mspx](http://www.microsoft.com/WindowsServer2003/R2/default.mspx) を参照してください。

- Active Directory Application Mode
- Active Directory Federation Services
- Identity Management for UNIX
- Distributed File System
- File Server Management
- File Server Resource Manager
- Hardware Management
- Print Management Component
- Storage Manager for SANs
- Microsoft.NET Framework 2.0
- Common Log File System
- Microsoft Services for NFS
- Subsystem for UNIX-based Application
- Windows SharePoint® Services



**メモ**：最近リリースされた Dell システムに Hardware Management コンポーネントをインストールする場合は、サードパーティの IPMI ドライバに関する情報を含むメッセージが表示されます。このメッセージの詳細については、[www.dell.com/ostechsheets](http://www.dell.com/ostechsheets) で Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard Edition および Enterprise x64 Edition の『重要情報』を参照してください。

特定の R2 コンポーネントをシステムにインストールするには、以下の手順を実行します。

- 1 管理者としてログオンします。
- 2 **スタート** → **設定** → **コントロールパネル** の順にクリックし、**プログラムの追加と削除** をダブルクリックします。
- 3 **Windows コンポーネントの追加と削除** をクリックします。  
**Windows コンポーネントウィザード** ウィンドウが表示されます。
- 4 インストールする R2 コンポーネントを選択し、画面の指示に従ってインストールを実行します。